



測量機器をのぞき込む児童—綾部市大島町の市立中筋小で

## GPSで校庭測量

綾部・中筋小児童が体験

綾部市立中筋小の6年生が29日、体験学習で測量士らから測量の意義や役割について学んだ。測量の日（6月3日）記念事業として、

府測量設計業協会の会員や関係者が同校に出向き開いた。

児童たちは、教室で国土地理院近畿地方測量部の職員から測

量と地図の話聞いた後、グラウンドに出てGPS（全球測位システム）などの機器を使って測量を体験した。

グループに分かれてそれぞれが、投げたボールの距離を歩数で割り出したのと測量機器で測った誤差を確認したほか、協会員が測量

機器を使って描いた市内にある国宝「光明寺二王門」の実物大の絵を見て、測量への理解を深めていた。

また、校内には学校の位置（緯度、経度、標高）を示す標柱も設置。柏原唯翔さん（12）は、機器の性能に感心した様子で「GPSの機械を持って歩くだけで文字や絵が描けたのは驚き。良い勉強になりました」と話していた。

【佐藤孝治】

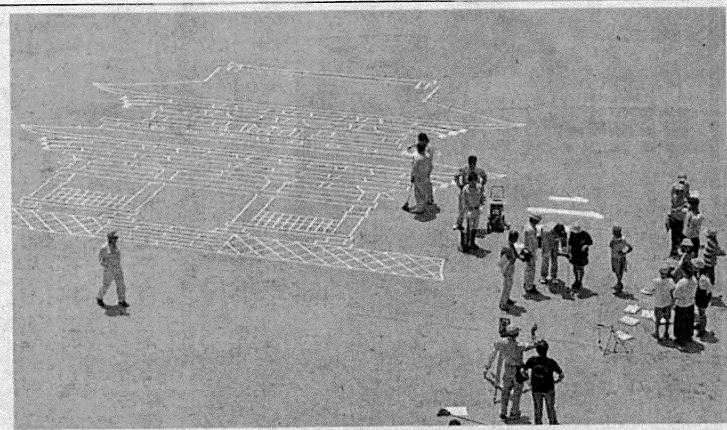
# 測量機器使い 運動場に文字

## 綾部 中筋小児童ら体験

土木工事や地図など  
生活に幅広く使われ

知っている測量について  
知ってもらおうと、府  
測量設計業協会が29  
日、「測量体験学習」

を綾部市大島町の中筋



測量士たちが描いた二王門の地上絵に添える「二王門」の文字を、測量機器を使って書く6年生ら(右下)  
＝綾部市大島町・中筋小

小で行った。6年生50  
人が、校舎などの高さ  
を当てるクイズや運動  
場に字を書く体験をし  
た。

6年生は運動場に設  
けた七つのコーナーを  
体験。校舎やフェンス  
の高さを当てるクイズ  
コーナーでは、約30分  
先から目測して「8.5m」

測量士が機器で測定。  
正解の高さを知ると、  
目測との差に驚いてい  
た。

測量士が運動場に描  
いた国宝・光明寺二王  
門の地上絵に、6年生  
が測量機器を使って  
「二王門」と添え字を  
正確に書く体験も行っ  
た。学習は6月3日の  
「測量の日」に合わせ、  
府内で年1校のみ行っ  
ている。  
(八幡一男)